

会員各位



長崎肝友会だより

B型・C型肝炎患者団体

全員で救済に向け頑張ろう！

平成26年1月10日

長崎肝友会 代表 安部 都

090-5734-2886

NO. 25 加藤 由紀子

9月21日肝臓医療講演会

北海道大医学部肝臓専門医の、川西輝明先生をお招きして、B型・C型肝炎医療講演会（肝炎治療はこう変わる）・交流会を開催しました。会場には、約30名の患者さんや一般の方が来場され、川西先生の弾き語りによる演奏で、一緒に歌をうたって楽しいひと時を過ごしました。

きつとかなう夢のために！

もう不満は言わない 笑いの医力 病気をふっとばそう！



全国センター事務局、児玉義明氏による相談・交流会

9/26 全国センターの児玉氏来崎！

ほとんどの患者がまだ救済に至ってない。

要望内容は、1 治療費、2 平等に保証金、3 早期治療方法の開発、この3点を国に要望する。

今年5月頃に国会へ提出する請願書の署名活動を、元大丸前で2月末週に行いますので、皆さまどうぞご参加ください。自分たちの願いを叶えるためです。詳しくは、事務局：加藤までご連絡下さい。

090・2391・9420



長崎新聞 2013年(平成25年)11月23日 土曜日

肝炎患者の団体が県に独自支援要望

県内のB型肝炎、C型肝炎の患者でつくる長崎肝友会(安部都代表)が22日、県庁を訪れ、医療費助成など県独自の患者救済策を求める要望書を提出した。長崎肝友会によると、北海道、長野など5道県ではすでに、ウイルス性肝炎患者に対する独自の医療費給付制度がある。同会は「国は全国的にも患者数が多いとみられている。病気を打ち明けていない人もいる」として要望した。要望書を受け取った田中桂之助副知事は「医療・福祉の分野は地域で対応が変わるのではなく、全国的な制度を整えることが本来の姿」と国に支援拡充を求めると訴えた。安部代表



県独自の患者救済策の必要性を訴える安部代表 ー県庁

11月22日(金) 県に要望!

長崎県中村法道知事へ(長崎県独自の救済策を求める)要望書を提出。吉村県議に紹介議員となって頂き、安部・栄木・加藤・大町・原口5人で提出。田中副知事が対応して頂きました。「国の支援を待っている、救える命も救えない」と強く訴えました。今後の予定は地方議会、国へ請願致します。皆さんと共に頑張りましょう!